

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年度11月12日  
 都市名・国 宮城県石巻市・日本

取組の名称	非核平和推進人材育成事業（被爆体験講話）
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合（ ）
テーマ・目的	恒久平和に貢献できる人材育成
対象者 (年齢・学年、人数等)	石巻市内の中学校1校（年度により人数は様々）
実施場所	石巻市内の中学校
実施期間	平成24年度より事業開始。非核平和推進人材育成事業（広島研修）の東日本大震災の影響による休止に伴い、その代替事業として開始し、広島研修の再開後も継続して実施している。 毎年1回、11月の開催を予定している。
<p>取組の概要</p> <p>毎年1回、石巻市内の中学校1校を会場とし、会場校の中学生を対象に被爆体験者による講話を行っている。平成24年度～平成27年度は、仙台市内在住の被爆体験者を講師として招聘、平成28年度からは、広島平和記念資料館の被爆体験証言者を招聘している。</p> <p>〈次第〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 学校長あいさつ</li> <li>3 講師紹介</li> <li>4 講話（1時間）</li> <li>5 生徒との意見交流会（30分）</li> <li>6 閉会</li> </ol>	
<p>参加者の反応</p> <p>講話後に提出してもらった感想文等から見ると、実際に被爆体験をされた方のお話を聞くことで、当たり前前の生活に感謝したり、平和や命の尊さについて考えたりするきっかけになったと感じた生徒が多くいるようであった。また、このような貴重な機会を与えられた自分たちが、後の世代に伝えていかなければならないと気持ちを新たにしている生徒も多く見られ、参加者にとって、戦争や平和について考える良い機会となっていると考えられる。</p>	
<p>成果</p> <p>実際に被爆体験をした講師にお話を伺うことは、なかなか体験できることではないため、参加者に平和や戦争について考えるきっかけを与える貴重な役割を果たしているとともに、非核平和推進人材育成事業の広島研修への生徒の意欲創出につながっていると考える。</p>	
<p>課題</p> <p>例年、広島より講師を招聘し石巻市内の中学校で講話をしていただいているが、年々講師の高齢化が進み講師が少なくなっていることや、講師にかかる移動等の負担の大きさが課題である。</p>	
<p>取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師持参のパワーポイント等の資料</li> </ul>	
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。